

## 「映画『ちづる』の上映を応援する会・福岡」発足のご挨拶

2012年1月21日からKBCシネマで公開予定の映画『ちづる』は、立教大学現代心理学部映像身体学科出身の赤崎正和さんが卒業制作のために手がけたドキュメンタリー映画です。知的障害と自閉症をもつ自身の妹・千鶴さんとその母の姿を1年間にわたり撮り続けたこの作品は、監督自身がそれまで正面から向き合うことのできなかった妹とカメラを通じて対話するなかで家族との新しい関係を築きあげてくという物語で、すでに公開が始まった東京・横浜などで大きな反響を呼んでいます。

また、千鶴さんと正和さんの母親である赤崎久美さんは、映画の劇場公開と同時に、千鶴さんが生まれてからの21年間の子育てや家族についての手記をまとめたものを『ちづるー娘と私の「幸せ」な人生』(新評論・発行)として出版しました。

自閉症を医師に告げられたときの絶望。そこから立ち上がり次第に千鶴さんの緩やかな成長を喜べるようになる一方で、自宅に引きこもりがちになってゆく千鶴さんとの波乱万丈な日々。6年前に飲酒運転の事故の犠牲者となって夫が急逝するという不運に会いながらも、いつも穏やかに明るく苦勞に立ち向かう久美さんの姿は感動的で、「家族の絆」や「人生の幸福」について深く考えさせられます。

久美さんと亡くなられた夫・正幸さんは九州大学の同級生で、それぞれ筑紫丘高校・福岡高校の出身ということもあり、多くの方々からこのふたつの『ちづる』に対して深い関心と熱い声援が送られています。つきましては、福岡での公開を成功に導き、より多くの人々にふたつの『ちづる』に触れていただくことと、監督・赤崎正和さんの今後の活動を支援することを目的として「映画『ちづる』を応援する会・福岡」を発足させることと致しました。

上映は1週間という短い期間ではありますが、久美さんと正幸さんのふるさとであるこの福岡での劇場公開を大いに盛り上げ、今後のより多くの場所での上映実現のきっかけづくりとなることを願っております。

なにとぞ趣旨にご賛同の上、宣伝、広報にご協力賜りますようお願い申し上げます。

呼びかけ人：	堤 かなめ	筑紫丘高校31回卒・福岡県議会議員
	佐田 昌彦	福岡高校31回卒・九大アプリコットテニスクラブOB
	佐田 悦子	九大アプリコットテニスクラブOB
	成富 順子	九大アプリコットテニスクラブOB
	足立 志麻	九大アプリコットテニスクラブOB
	横田 秀策	福岡高校31回卒・福岡市立特別支援学校「博多高等学園」教頭
	舛本美帆子	福岡高校31回卒・言語聴覚士、新宮町ことばの教室
	篠田 恵美	福岡高校31回卒・九州大学文学部社会学研究室OB
	納 智里	福岡高校31回卒
	高山 倫明	九州大学文学部教授・国語学・国文学研究室OB
	斉藤 啓子	九州大学文学部国語学・国文学研究室OB
	池上 和恵	九州大学文学部心理学研究室OB・まんま・みーあ
	本岩 美香	YM-net
	井島 信枝	YM-net・子どもねっと会議所
	山本奈穂子	YM-net・九大アプリコットテニスクラブOB
	大井 真木	福岡高校32回卒・九大アプリコットテニスクラブOB
	大井 実	福岡高校32回卒・ブックスキューブリック
	田村 元彦	西南学院大学教員・KBCシネマ企画ディレクター
連絡先：	ブックスキューブリック 大井	092-711-1180 ooi@bookskubrick.jp

---

映画『ちづる』(2011年/日本/79分) 監督：赤崎正和  
製作：池谷 薫(「蠟の兵隊」「延安の娘」)  
公開日：2012年1月21日(土)～1月27日(金)  
劇場：KBCシネマ(福岡市中央区那の津1-3-21)  
上映時間：10:00～ \*22日のみ2回目上映有り(12:30～)  
公式サイト：<http://chizuru-movie.com>

\* 1月22日(日)に監督・赤崎正和氏が来福。舞台挨拶およびトークイベントが行われます。  
(当日のみ2回上映、他の日は午前中一回のみの上映です。通常料金でご覧になれますが予約は出来ません。)

1回目上映(10時～)終了後、赤崎監督挨拶と西南学院大学人間科学部社会福祉学科の野口幸弘教授による解説  
2回目上映(12時30分～)終了後、赤崎監督挨拶